

# 連携協定を締結

江崎グリコ・道の駅赤来高原・飯南町

1/14 木

江崎グリコ株式会社と道の駅赤来高原、飯南町との間で「相互協力に関する連携協定」を締結しました。

乳幼児世帯の子育て環境の向上と災害時の食糧確保を目的とし、道の駅赤来高原には、乳児用液体ミルクのほか、災害時長期保存食としてビスコ保存缶やレトルトカレーが常備されます。



3者協定は全国初



道の駅赤来高原で購入できます



木村町長(道の駅赤来高原)は「まずは商品への理解と防災への意識を着実に広げていきたい。『ローリングストック』が飯南町で当たり前になれば」と話しました。  
※ローリングストック：日常生活で消費しながら備蓄する方法。消費した分は買い足し、常に一定の食糧を確保しておく。

# 国民年金保険料学生納付特例

令和2年度に、学生納付特例制度により保険料納付を猶予されていた、令和3年度も引き続き在学予定の学生に、基礎年金番号等が印字されたハガキ形式の「学生納付特例申請書」が3月末に送付されます。

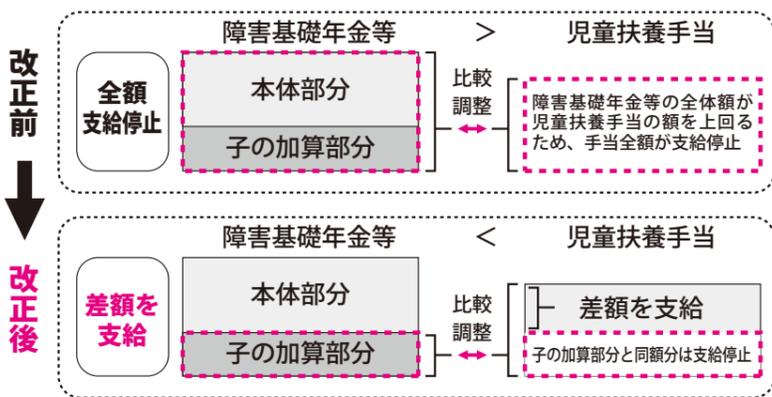
同一の学校に在学している人は、そのハガキに必要な事項を記入して返

# 障害年金受給家庭の児童扶養手当受給要件が変わりました

次の要件を満たすひとり親家庭の人は、令和3年3月分から児童扶養手当(図の差額部分)を受給できます。

- 要件 児童扶養手当の額が障害年金の子の加算部分の額を上回る場合(令和3年3月1日時点)
- 申請期限 令和3年6月30日(木)

■問合せ 福祉事務所 電話72・1773



送することで、令和3年度の申請ができます。(在学証明書、学生証の写しは不要)  
この納付特例制度を利用せず、令和3年度の保険料納付を希望される場合は、お近くの年金事務所へお問い合わせください。

■問合せ 出雲年金事務所 電話0853・24・0045

# 農業者年金加入者募集

農業者年金は、農業者の老後の生活の安定などを目的とした、農業者だけが加入できる、積立方式の「農業者のための年金」です。

- 加入要件
- ・年間60日以上農業に従事
- ・国民年金の第1号被保険者
- ・60歳未満の人

農業経営者をはじめ、自分名義の農地を所有していない農業者や、配偶者、後継者など家族農業従事者も加入できます。

■問合せ 農業委員会事務局 電話76・2214

# 山碕町長が退任

1月29日付で、山碕英樹町長が任期満了により退任されました。

平成17年1月の就任以来、4期16年にわたり「小さなまちからの生命地域宣言」を基本理念とした「笑顔あふれるまち飯南町」の実現に向けたまちづくりを尽力されました。

また、任期中に島根県町村会会長、島根県過疎地域対策協議会会長などを歴任され、国への要望活動にも積極的に取り組まれました。退任式では、「今後も町の魅力を磨き上げ、誰もが住みたいと思えるまちづくりを進めてください」と話されました。



役場本庁舎を後にする山碕町長

# 書道作品「切磋琢磨」 来島交流センターに寄贈

書道家の本間美智子さん(花栗)が来島交流センターに作品を寄贈されました(1階「交流スペース」に展示)。

本間さんは「何かこにあればいいよね」という話から寄贈に至りました。来島交流センターは『教育・文化の拠点』と聞いていたので、『切磋琢磨』という言葉を選び、心を込めて書きました。気軽に見てもらえたら嬉しい」と話していました。

# 絵画作品「出逢い」 役場本庁舎に寄贈

山碕英樹さん(小田)が役場本庁舎に絵画作品を寄贈されました(1階「町民サロン」に展示)。

寄贈されたのは、油絵画家の八嶋洋平さん(野苺)の作品。亀を背負った男の子と、鶴を頭に乗せた女の子が海辺で出逢う情景が描かれています。

八嶋さんは「縁起物の亀と鶴、プラスチック人形をモチーフに、出逢いによって生まれる新たな希望や夢を思いながら制作しました。自分の作品が、町民の皆さんの目に触れる機会をいただき感謝しています。これから『縁』を大切にしながら絵を描き続けたい」と話していました。



切磋琢磨 隷書体の雰囲気をもと行書体 40.5×162.5cm



出逢い 2021 油絵 キャンバス 72.7×91cm

これから『縁』を大切にしながら絵を描き続けたい」と話していました。